



ケブカガニ (エビ目オウギガニ科) Pilummus vespertilio

大きさ:甲長 1.7cm。

特徴: サンゴ礁の干潟の上にすむ。全身が長い毛におおわれており、他のカニと区別できる。

分布:相模湾~沖縄諸島。

泡瀬地区の干潟(礁原)でよく観察できるカニである。

おそらく、カニということで、この写真のカニを食べようと考える人はいないとは思うが、決して食べてはいけない。 ケブカガニは、有毒のカニであるからである。 手にとって遊ぶだけなら安全である。

このケブカガニは、各個体で気に入った巣穴があるようで、そこに戻る習性があるといわれている。

確かに、近づくと、決まって同じ穴に戻る。

しかし、なぜ、このようなおびただしい毛に体がおおわれているのであろうか。体に毒があるならば、堂々としていればいいように考えるが・・・。